

## 福岡の公立進学校でも定員割れ 志願倍率急落に教育関係者「衝撃」

2026年2月21日 8時00分

中村有紀子 鳥尾祐太



福岡県



福岡県内の2026年度公立高校一般入試の中間志願者数が20日発表され、全日制98校の倍率は1.05倍（前年確定値1.13倍）と低下し、2000年以降、過去最低だった。4月から高校授業料の無償化拡大が控えるなか、定員割れした進学校も出ており、関係者に衝撃が広がる。

総合学科含む普通科系で見ると、高い方から、筑紫丘（理数）2.65倍▽明善（理数）2.30倍▽新宮（理数）1.80倍▽修猷館（普通）1.73倍▽筑紫中央（普通）1.71倍の順だった。

筑紫丘、修猷館（いずれも普通科）は前年の確定値から0.04～0.05ポイント上がった。

### 福岡の公立高校、全日制の中間志願倍率1.05倍 トップは筑紫丘 →

■高校別の倍率トップ10 ①修猷館1.73倍（前年確定値1.69倍）②筑紫中央1.71倍（1.45倍）③北九州1.51倍（1.35倍）④筑紫丘1.50倍（1.40倍）⑤城南1.48倍（1.38倍）⑥福岡1.48倍（1.54倍）⑦香椎1.41倍（1.34倍）⑧小倉南1.40倍（1.27倍）⑨東筑1.35倍（1.46倍）⑩明善1.34倍（1.38倍）

### 「進学校」で相次ぐ倍率低下

「トップ校については、私立の無償化拡大によって倍率は下がっていない。むしろ倍率が上がっているところもある」

英進館（福岡市）の取締役、宮園雅樹さんはこう分析する。「今までは経済的に公立に行きたくて志望を下げていた層が、私立を滑り止めにでき、公立トップ校に挑戦する層が出てきた可能性がある」という。

一方で、トップ校とそれに次ぐ人気校以外については、「影響が大きく出ている。予想以上に志願倍率が下がった」と指摘した。特に八幡の倍率に注目。0.98倍（前年確定値1.25倍）と定員割れしたことについて、「衝撃」と語った。

他にも筑前が1.04倍（同1.29倍）、福岡中央1.09倍（同1.41倍）、新宮1.05倍（同1.28倍）と、各地域の進学校で倍率が低下していることについて、「今までこんなことはなかった」と話す。設備の良さや通学距離などの魅力で、私立を志願する層が増えた可能性があるという。

## 無償化拡大が「私立への決断後押し」

福岡県内の明光義塾を運営する、コースコーポレーションの石塚遥太事業部長も、各地域の進学校の倍率低下に注目する。

石塚さんは、教育費の無償化拡大が、「保護者が、子どもを私立に通わせる決断を後押しした」と指摘。「私立校の偏差値が高いコースが人気になっている。（それにより）公立の進学校と呼ばれる学校の倍率が下がったのではないか」と分析した。

また地域別にみても、福岡市など都市部に近いほど、「私立校に生徒が流れ、（公立校の倍率が下がる）無償化のトレンドの流れをくんだ倍率になった」と話した。

今回の倍率状況をみて志願先を再検討する受験生に対しては、「学校によっては、例えば理数科の点数が足りなくても普通科に受かる、『転科合格』がある。（単純な倍率だけでなく）受験校の制度の情報をいま一度見た方がいい」とアドバイスした。

また県教委高校教育課の担当者は、公立高校の倍率について、「これまでの下がり幅よりも大きく下がっている。私学の無償化の影響が一定程度あったのではないかと考えている」。少子化の影響については「少子化に伴って入学定員も減らしている。少子化が倍率の低下に結びついているかはわからない」と述べた。

## 再掲／高校別の倍率トップ10（カッコ内は前年確定値）

修猷館 1.73倍（1.69倍）

筑紫中央 1.71倍（1.45倍）

北九州 1.51倍（1.35倍）

筑紫丘 1.50倍（1.40倍）

城南 1.48倍（1.38倍）

福岡 1.48倍（1.54倍）

香椎 1.41倍（1.34倍）

小倉南 1.40倍（1.27倍）

東筑 1.35倍（1.46倍）

明善 1.34倍（1.38倍）

「デジタル版を試してみたい!」というお客様にまずは**1カ月間無料体験**



[お申し込みはこちら](#)

### この記事を書いた人

**中村有紀子**

西部報道センター | 福岡  
県政担当

[+ フォロー](#)



**鳥尾祐太**

西部報道センター | 行政  
担当

[+ フォロー](#)

専門・関心分野

生物、文化

専門・関心分野

地方政治、無国籍・難民、東南アジア、誤情報

### 関連トピック・ジャンル

ジャンル

[社会・調査報道](#) [教育・子育て](#) [受験](#) [高校受験](#)

朝日新聞のデジタル版に掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.